

令和7年（2025年）7月15日
子ども未来創造局保健スポーツ室

箕面市民温水プールの整備について

このたび、西ノ池跡地（箕面市立第二総合運動場の東隣接地）において、箕面市民温水プールを整備する運びとなりました。

本施設は、大阪府福祉のまちづくり条例をはじめとする関連法令を遵守し、公共の温水プールとしての要求水準を満たすことを基本要件としつつ、民間のノウハウを活かした整備・運営を行うために、設計・施工・運営を一括で行うDBO（Design Build Operate）方式を採用しました。

公募型プロポーザルにより整備運営事業者を募ったところ、3つの事業者グループから応募があり、令和7年4月下旬に行われた選定会議の結果、株式会社関西テレビライフ（設計企業：株式会社ラフト、建築企業：春名建設株式会社、維持管理運営企業：株式会社関西テレビライフ）の事業者グループが選定されました。このグループは、KTV石橋店の改修実績があるチームです。

株式会社関西テレビライフの事業者グループから提案された施設は、平屋建てで延べ床面積は約1,360㎡であり、施設構成には、25m×6レーンのメインプール（水深110cm）、サブプール（水深70cm）、車椅子による入水も可能なプールのスロープ、さらには多目的に利用できる談話室などが含まれています。また、更衣室やトイレについては、車椅子利用者にも配慮した「誰でもトイレ」を設置するだけでなく、介助者と一緒に利用できる広さを確保した「誰でも更衣室」を設けるなど、すべての利用者が尊重され、排除されることのない施設づくりを目指しています。

施設の開業は令和8年6月頃を予定しています。

本日のご確認事項：箕面市民温水プールにおけるバリアフリー設備等について

○施設内2カ所の誰でもトイレ設備について

- ・どなたでも安心して利用いただけるよう、大人用介護ベッドを設置する計画です。
- ・ストレッチャーと介助者2人が同時に入室できるスペースを確保しています。
- ・便座には背もたれを設置し、持ち物をかけるためフック等を設置する予定です。

○誰でも更衣室と車椅子シャワー室の設備および配置について

- ・どなたでも安心して利用いただけるよう、大人用介護ベッドを設置する計画です。
- ・ストレッチャーと介助者2人が同時に入室できるスペースを確保しています。
- ・誰でも更衣室利用者がスムーズにシャワーに移動できるよう、車椅子シャワー室を隣接配置する計画とします。

○各室へのフラッシュライト設置について

- ・聴覚障害者の方も安心して利用できるよう、各室に緊急時用フラッシュライトを設置し、有事の際には速やかに避難できるよう、安全を確保する計画とします。

○スロープの幅と廊下の手すりについて

- ・建物の入り口やプール室内、ととのいデッキに設置されるスロープは、幅を 1.2m にし、踊り場には 1.5m の転回スペースを確保する計画とします。
- ・また、廊下には、手すりを必要とする方が使いやすいように、連続性を持たせた手すりを設置する計画とします。

○プール室からの避難経路について

- ・有事の際に、障害の有無に関わらず、プール室から速やかに避難できるよう、避難用スロープを設置する計画とします。

○施設入口へのカメラ付きインターホンの設置について

- ・施設職員と来訪者が音声以外でも円滑にコミュニケーションを取れるよう、カメラ付きインターホンを設置します。